

のじり

庁舎だより



撮影地：野尻町紙屋

特集

姉妹都市能登町の魅力

のじり聞き書きvol.9 畜産物語④

魅力1

世界農業遺産

昔ながらの農業や景観、文化、食などの自然と共存してきた伝統や文化が一体となって維持保全されていることが評価され、『能登の里山里海』が2011年に国内初となる“世界農業遺産”の認定を受けました。

能登を歩けば、色々なところで世界的な遺産として認定された景観や文化、食などに会えます。

魅力2

祭の宝庫

約40基の“キリコ”が火の粉を受けながら町を練り歩き、2基の神輿を海や川、火に投げ込む『あばれ祭』などの勇壮な祭。また田の神様に厳しい冬を家族と一緒に過ごすための送迎の神事「あえのこと」など能登町では1年を通して様々な祭や祭礼が、各地域で行われます。

能登町で行われる主な祭り・祭事

5月	とも旗祭り	9月	袖ヶ江祭り
7月	あばれ祭	9月	白丸曳山祭り
7月	恋路火祭り	11月	いどり祭
7月	松波人形キリコ祭り	12月・2月	あえのこと
7月	どいやさ祭	2月	アマメハギ
8月	にわか祭	3月	石仏山祭
9月	柳田大祭		



あばれ祭



キリコ

魅力3

多彩な食文化

函館、八戸とならぶイカの三大漁港の一つ「小木漁港」や寒ブリで有名な「宇出津漁港」などがあり、新鮮な魚介、多彩なキノコや山菜など、一年を通して食材に恵まれている能登町。古くから伝わる魚醤「いしり」と、そのいしりを使った「いしり貝焼」、漬物「べん漬け」やアジなどの魚をごはんで漬け込んだ「ひねずし」、イワシをぬかで漬け込んだ「こんかいわし」など発酵食品も多彩です。他にも能登牛や日本三大杜氏に数えられ何百年もの歴史がある能登杜氏のお酒もあります。



いしり貝焼



特産のいしり

行ってみよう能登!

アクセス

飛行機利用の例



助成金

小林市民限定

市では、市民による団体が研修・視察交流やイベント交流等を目的に能登町を訪問する時、経費の一部を補助します。詳しい条件等については事前にご確認ください。

- ◆金額 1人あたり上限3万円(1団体上限30万円)
※予算に限りがあります ※家族の場合は別途規定有り
- ◆対象経費 交通費、能登町での宿泊料等
- ◆その他 研修・視察交流先のご紹介もいたします。
- ◆問い 企画政策課 Tel.(23)0456



姉妹都市

能登町の魅力

【特集】

(旧)野尻町の時から姉妹都市として交流を続けている石川県能登町。その姉妹都市の経緯と魅力の一部をご紹介します。

姉妹都市の歩み

当時姉妹都市を募集していた野尻町は、同じく姉妹都市を募集していた石川県能登町(当時)と出会いました。能登町は石川県能登半島の北東部に位置し、富山湾に面しています。基幹産業はイカ・ブリ・マグロなどの漁業が中心で、特にイカ釣りやブリの定置網漁業は全国的にも有名です。

両町は「地理的・気候的条件は違うが、過疎対策・地域おこしにける熱意に通じるものがある」と感じ、平成7年に姉妹都市として締結しました。



H7年 姉妹都市締結式



今年の中学生交流



能登町イメージキャラクター

のっとりん

翌年からは、中学生による友好使節団の派遣が始まるなど、様々な団体が能登町と交流し、都市部で共同の物産展も開催されるようになりました。能登町は平成17年に、野尻町は平成22年にそれぞれ合併し『能登町』・『小林市』となりましたが、両市町は平成24年において姉妹都市の盟約を結び、さらなる人的・産業・文化的交流を深めています。

BTVケーブルテレビ(11ch)

「こぼナビ」番組情報

9月の放送でも能登町との中学生の交流活動などをご紹介します。ぜひご覧ください。

放送日 毎週水曜、土曜、日曜

放送時間 17時40分～
22時40分～

問い合わせ 地域振興課 Tel.(44)1100



石川県能登町

畜産物語

農家の副業から基幹産業へ発展した養豚・養鶏

和牛・酪農に続き「畜産物語」の最後は、養豚・養鶏業です。養豚・養鶏の歩みと、養豚業を営む嶺石藤男さん、養鶏業を営む芝原靖彦さんのインタビューをお届けします。

小規模副業から大規模専門へ

養豚・養鶏ともに、元々は自給目的・農家の副業として増加してきました。「私が農協に入った昭和40年代は、庭先に豚や鶏がいる風景がよく見られました。当時は子豚のセリ市の開催や、貨車輸送で千葉の芝浦屠場への共同出荷も行っていました。」(元農協職員 庭山重廣さん)

養豚は昭和27年に526戸、昭和53年に240戸と多くの農家で副業的に行われていました。その後、子豚の価格の下落などから利益を出すために、生産から肥育、出荷まで一貫経営し、規模拡大する専門的多頭飼育の形態へ変化していきました。

養蚕から新たな産業へ発展

養鶏は採卵目的の養鶏農家から始まり、昭和45年ころからブロイラー生産農家が増え、現在ではほとんどがブロイラーとなっています。昭和50年代ころまで盛んだった養蚕業は桑の葉が採れる夏場しかできず、空いた冬場に養鶏をする形態が多く行われていました。その後、養蚕業の衰退と共に養鶏一本(養豚や和牛に転換した人も)に切り替え、規模拡大する人が増えました。加工業や飼料会社など企業誘致が行われたことも追い風となったのです。(参考文献『野尻町畜産史』)

地域内で若い世代が繋がる橋渡し役になりたい

父親の代から養蚕と和牛の複合農家をしていましたが、収益性などを考え、昭和61年一貫経営で養豚農家を始めました。年々様々な病気が増え、倒産の危機にも合い、やめようと思ったこともありましたが、危機を乗り越え、その後2人の息子たちが帰ってきたことが大きな転機になりました。頭数を増やし設備を拡大し、みやぎ養豚生産者協議会(MPC)に加盟するなど活動も広がり、平成24年に法人化することができました。現在は14名体制で母豚580頭、飼育数6500頭を飼育しています。

法人化して大変なこともありましたが、社員も一生懸命働いてくれて業績も伸び、懇親会などで社員の家族も一緒に楽しそうな姿を見られたときは嬉しく、拡大して良かったと思いますね。

養豚農家は病気の心配から、今は地域内での農家同士の交流がほとんどありません。地域としても養豚農家の若い世代が情報交換したり一緒に学べる機会ができるよう、我々の世代が橋渡し役になっていきたいと思っています。



株式会社ピッグファーム嶺石 代表取締役 嶺石藤男さん

消費者と顔の見える関係を築きたい

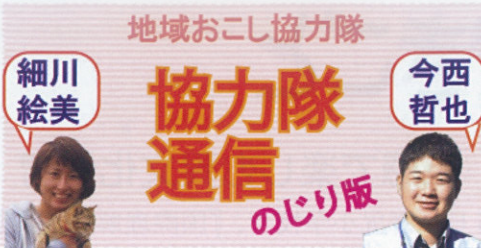
農業高校卒業後2年間修行を積み、昭和57年、21歳のとき養鶏家として独立しました。最初は3万羽から始めて、現在は9万5000羽をほぼ一人で飼育しています。品種改良がどんどん進み、早く大きく育つようになった反面、病気になりやすく、病気にならないよう、健康管理を何より大事にしています。一番気を使うのは温度管理です。微妙な温度の違いで体調に大きな変化が出るので、温度と空気のバランスを日々、様子を見ながら調整しています。鶏はとてもデリケートなので365日目が離せません。この仕事は汗だくで汚れるし忙しいですが、自分流のやり方でできることは醍醐味ですね。

消費者から信頼され、素敵な仕事だと誇れるよう、イメージ、見た目も大事だと考えています。農場に芝を張ったり、花を植えたり、気持ちや環境に余裕を持つことが良い鶏を育てることに繋がると思っています。今後は、都会から人を呼んで農家体験イベントを開催するなど、消費者と顔が見える関係を築いていきたいです。



養鶏家 芝原靖彦さん

取材を終えて 生産者、農協、行政が一体となり取り組む和牛や酪農、独立して一貫経営する養豚・養鶏と、畜産の中でも様々な形態、様々な想いがあり成り立っているのだから感じました。今回紹介したのは全体のごく一部ですが、少しでも野尻の畜産について知るきっかけとなれば嬉しいです。また、「畜産物語」は今後冊子にまとめたい予定です。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。(地域おこし協力隊 細川絵美)



子牛のセリ市に参加!

先日、西諸地区の子牛のセリ市に、初めて自分で子牛を引いて参加しました。思う様に牛を操れず悪戦苦闘する場面もありましたが、無事にセリを行う事ができました。牛を見る目を養う為に色々な牛をセリでの値段を予測しながら観察しましたが、なかなか一朝一夕ではいきませんでした。良い牛だなと思うことができるぐらいの知識は身に着けたいと感じました。また私事ですが8月を持ちまして地域おこし協力隊を退任する事となりました。継続して野尻で活動しますので、よろしくお願いたします。(今西)



交流人口を増やす「風」の役割で在りたい

野尻では地域のために様々な立場で活動する方々がたくさんいて、イベントや行事も豊富で凄いなと感じています。その中で外から来た人間としての役割は、外と中を繋ぐ風を起こすことではないかと思えます。外からの交流人口を増やすため、青島の企業と連携しての野尻湖でSUP(ボートの上)に立ちパドルを漕ぐアクティビティ体験ツアーや、薬草センターと連携してハーブとヨガの定期イベントなどができるかと考えています。微力ではありますが、一つずつ形にできるよう頑張ります!(細川)



▲須木の小野湖で行われた SUP ツアーの様子

最近のできごと

五感で楽しむ異文化学習

7月15日に野尻小学校で、『国際理解の授業』（主催：国際交流支援の会）がありました。授業ではバングラデシュについて生徒が調べ発表した後、講師から実体験や



写真による現地の暮らしぶりの説明がありました。生徒たちは本物の民俗楽器や民俗衣装に触れながら、海外の文化を学習しました。

地道な活動が表彰されました

7月26日に栗須を考える会が『宮崎県道路愛護運動推進協議会』より表彰を受けました。定期的な地区内の交流を目的とした栗須小学校近くの国道沿いの花壇整備



活動が認められたものです。

(左)赤崎 峯雄 会長
(右)田爪 隆幸 前会長

東麓六月灯祭り

7月23日に『東麓六月灯まつり』（主催：野尻小学校区まちづくり協議会）が野尻小学校で開催されました。



小学生などが作成した約200個の灯籠（とうろう）と様々な屋台が彩る会場に600人が訪れ、ダンスや太鼓、抽選会などのステージイベントを楽しんでいました。

全員野球で勝ち取った栄光

7月30、31日に小林市緑ヶ丘野球場で行われた『中学校新人軟式野球大会』において、野尻中学校が優勝しました。



部員10人と少ないチームですが、大会では走・攻・守そろった試合運びで勝ち抜きました。同部は今後、南九州大会と県大会に出場します。

夏休みの宿題はできたかな

7月24日に農村環境改善センターで『絵と書の教室』（主催：小林市文化連盟キッズの会）が開催され



ました。当日は弓削書道教室の協力により、参加した小・中学生40名の児童・生徒が、夏休みの課題である絵や書道を書き上げました。

焼き上がりが楽しみ

8月3日に紙屋保育園で陶芸教室が開催されました。園田陶苑（紙屋）の協力により20年以上続く同園の



行事で、今年も年長組の親子が、粘土をこねたり伸ばしたりしながら協力して1つの器を作りました。

子どもの感性を伸ばす音楽会

8月5日に野尻保育園の3～5才児を対象に『音楽鑑賞会』（主催：宮崎県立芸術劇場）が開催されました。講師には県内で活動されているプロの演奏家が来ら



れ、クラシック曲の演奏だけでなく、子どもにも馴染みのある童謡の強弱やテンポを変えて「嬉しい」などの感情を表現したり、音楽に関するクイズをしたり、ピアノの音が出る仕組み見るなど、耳だけでなく、頭や目でも感じる演奏会に園児は夢中でした。

9月のお知らせ

魚のつかみどり大会

今年で5回目となるつかみどり大会。プールに放流されたニジマスを捕まよう！



日程 9月11日(日曜)
時間 14時～(受付13時～)
場所 のじりこびあプール
入場料 350円
対象 3歳～小学校6年生
問い合わせのじりこびあ Tel(44)3000

トピック！ 熊本地震義援金のお礼

小林市社会福祉協議会が、野尻庁舎や社会福祉協議会野尻支所など町区域内7カ所に設置した、『熊本・大分地震義援金募金箱』に対し協力のお礼と募金額の報告がありましたのでお知らせいたします。ご協力いただきました皆様、ありがとうございます。

期間 平成28年4月～6月末まで
募金額 13万5,883円

※社会福祉協議会 野尻支所では引き続き義援金の受付を行っています。

薬草イベントの案内

薬草・地域作物センターでは次の2つのイベントが開催されます。

◆薬草・地域作物を楽しむ会

日程 9月15日(木曜)
時間 13時30分～15時30分
内容 佐土原ナスを使った料理教室
備考 事前申込・実費負担が必要



◆薬草見学会

日程 9月11日、18日、25日の日曜
時間 ①10時30分～11時30分
②14時00分～15時00分
内容 薬剤師による薬草見本園の案内
備考 事前申込不要、無料

申込・問い合わせ 薬草・地域作物センター
Tel(21)6061

秋の全国交通安全運動

秋になると日没時間が急激に早まります。また飲酒運転による事故も後を絶ちません。期間中は次の3つに特に気を付けながら、交通安全に努めてください。

期間 9月21日(水曜)～30日(金曜)

◆夕暮れ時と夜間の交通事故防止(反射材着用・自転車前照灯点灯の徹底)

◆シートベルト、チャイルドシートの着用徹底(後部座席を含む全席)

◆飲酒運転の根絶



輝けフロンティアのじり通信 第12号

★問い合わせ 事務局 Tel(47)4184

住民交流委員会から 地域の団体をご紹介します！

⑯宮崎38(ミツバチ)会 野尻支部

(活動内容)

平成26年に正式に設立し、蜂箱を山などに設置して、日本みつばちの蜜を採取することを目的とした集まりです。会員は7名と少数ですが、情報交換や蜂箱のやりとりをしながら交流を深めています。興味のある方はお問い合わせください。

(問い合わせ) 長瀬 道大

(上野清治 支部長のお話)

知人に勧められたのがきっかけで始めました。蜂箱を市内各所の山に設置していますが、実際に蜂が入るのは設置数の1～2割となかなか思うようにはいかず、蜂の出入りで一喜一憂し、蜂が箱に住み着いた時には宝くじが当たったより嬉しく感じます。最終的な蜂蜜の採取ともなるとほんのわずかなので、お金にはなりません、山に分け入ったりするので『健康のため』と思いながら、気楽にやっています。



設置している蜂箱

9月 イベント・行事&ごみの収集

日 月 (1~3区) 火 (4~6区) 水 (全区) 木 (1~3区) 金 (4~6区) 土

				01 生ごみ/紙類	02 生ごみ/紙類	03 ・運動会 (野尻保育園)
04	05 燃やす/生ごみ	06 燃やす/生ごみ	07 廃プラ	08 生ごみ/紙類	09 生ごみ/紙類	10
11 ・運動会 (紙屋保育園)	12 燃やす/燃やさない/生ごみ	13 ・親子の健康教室 (子育て支援センター) 燃やす/燃やさない/生ごみ	14 廃プラ	15 生ごみ/紙類	16 生ごみ/紙類	17 ・運動会 (紙屋小・中学校) (野尻中学校)
18 家庭の日 ・ひがな花まつり (ゆ〜ぱるのじり) リサイクルの日	19 敬老の日 燃やす/生ごみ	20 燃やす/生ごみ	21 ・秋の全国交通 安全運動 (~30日まで) 廃プラ	22 秋分の日 生ごみ	23 生ごみ/紙類	24
25 ・運動会 (野尻小学校) (栗須小学校)	26 燃やす/生ごみ	27 ・保健講座 (子育て支援センター) 燃やす/生ごみ	28 廃プラ	29 生ごみ/紙類	30 生ごみ/紙類	01 ・運動会 (大塚原保育園) ・西諸地区秋季 体育大会
02 ・運動会 (栗須保育園) (野尻幼稚園) ・西諸地区秋季 体育大会	03 燃やす/生ごみ	04 燃やす/生ごみ	05 ・西諸地区秋季 体育大会(陸上) 廃プラ	06 生ごみ/紙類	07 ・ちよきちよき (子育て支援センター) ・4園合同年長児社会見学 (紙屋・野尻・栗須保育園、野尻幼稚園) ・1学期終業式 (町内各小・中学校) 生ごみ/紙類	

Vol. 27

米倉 桃子さん (小林堤)

(平成7年4月23日生まれ)

今年の7月からJAこばやし野尻支所で畜産技術員研修として勉強させていただいています。周りの方々からたくさん勉強の場を与えていただき素晴らしい環境の元で学ぶことができます。兵庫県出身ですが、宮崎の牛と人が大好きです。よろしくおねがいします。



編集後記

能登町では「盆と正月は帰らなくても、祭りの時期には帰省する」と言われるほど、生活の一部として祭りが浸透しているそうです。祭り文化を通して、地域の絆や郷土愛が育まれている姉妹都市がいることが誇らしいです。(佐藤)

←野尻町区域内にお住まいまたは勤務されている方を募集中です。自薦・他薦は問いません。◇野尻地域振興課まで

戸舎だより 9月号 No.77
編集発行 小林市野尻戸舎地域振興課
〒886-0292 小林市野尻町東麓1183-2
Tel:0984-44-1100 FAX:0984-44-0649
E-mail: n_sinkou@city.kobayashi.lg.jp
ホームページ
http://www.city.kobayashi.lg.jp